

# マコガレイ

*Pleuronectes yokohamae*

地方名

くろがしら（八戸、陸奥湾）、  
まがれい（陸奥湾、日本海）



## 生態

- ①寿命：約 10 年
- ②成熟：3 歳以上
- ③産卵期：陸奥湾では 12 月～翌年 1 月  
太平洋では 1 月～3 月  
日本海では 3 月～4 月
- ④産卵場：水深 10～60m の砂泥域
- ⑤分布：北海道南部以南から大分県付近、朝鮮半島南部、東シナ海
- ⑥生態：通常は水深 100m より浅い砂泥域に生息。  
食性は珪藻類、橈脚類、貝類、アミ類、ゴカイ類、甲殻類。

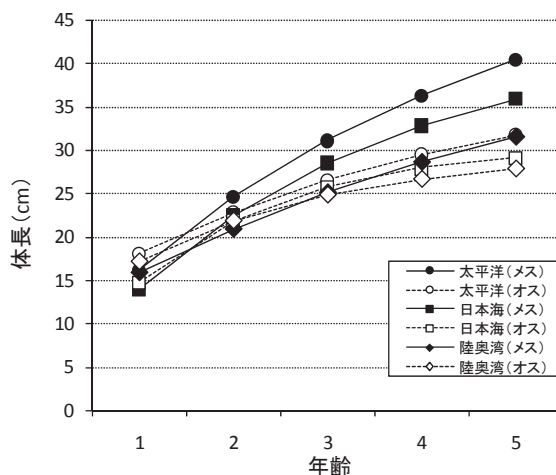


図 青森県におけるマコガレイの成長

## 主な漁業

底建網、さし網、底びき網で漁獲される。主漁期は太平洋と陸奥湾では 12 月～翌年 2 月、日本海では 1 月～4 月で 2 歳から漁獲される。

## 漁獲の動向と水準

マコガレイの漁獲量は、青森県全体では平成 20 年の 557 トンをピークに減少傾向が続き、平成 30 年には 200 トンで平成 8 年以降最低となった。漁獲金額は、平成 8 年の 4.4 億円をピークに減少が続き、平成 30 年には 8 千 700 万円と平成 8 年以降で最低となった。

(漁獲量及び漁獲金額は水産総合研究所調べ)

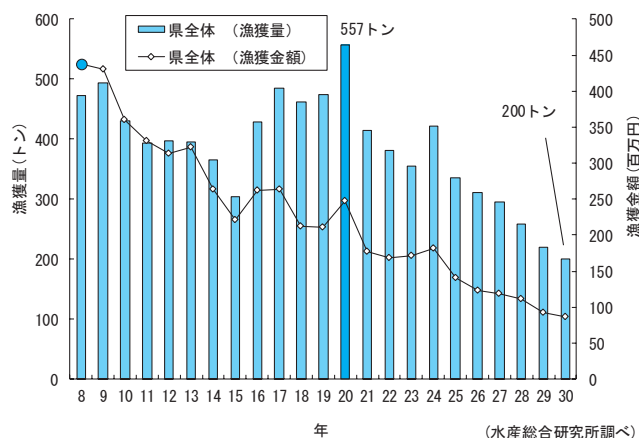
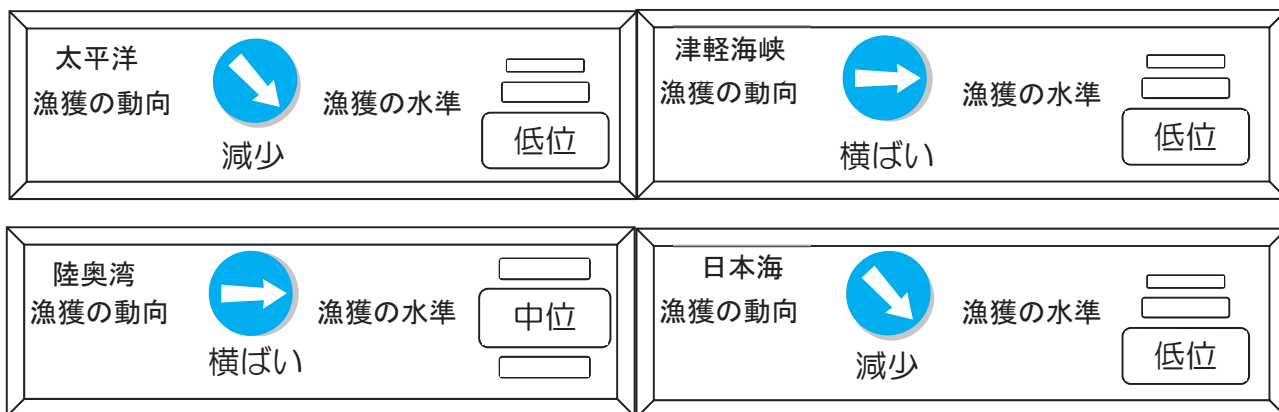


図 青森県におけるマコガレイの漁獲量及び漁獲金額の推移



## 海域別漁獲量及び漁獲金額

海域別漁獲量は、太平洋では平成 20 年の 324 トンをピークに減少し続け平成 30 年に 76 トン、津軽海峡では平成 9 年の 90 トンをピークに減少し続け平成 30 年に 15 トン、陸奥湾では平成 21 年以降横ばい傾向で平成 30 年に 93 トン、日本海では平成 22 年の 29 トンから平成 25 年の 59 トンまで増加した後減少に転じ平成 30 年に 16 トンであった。

漁獲金額は、全ての海域で平成 8 年または平成 9 年をピークに漸減傾向にあった。

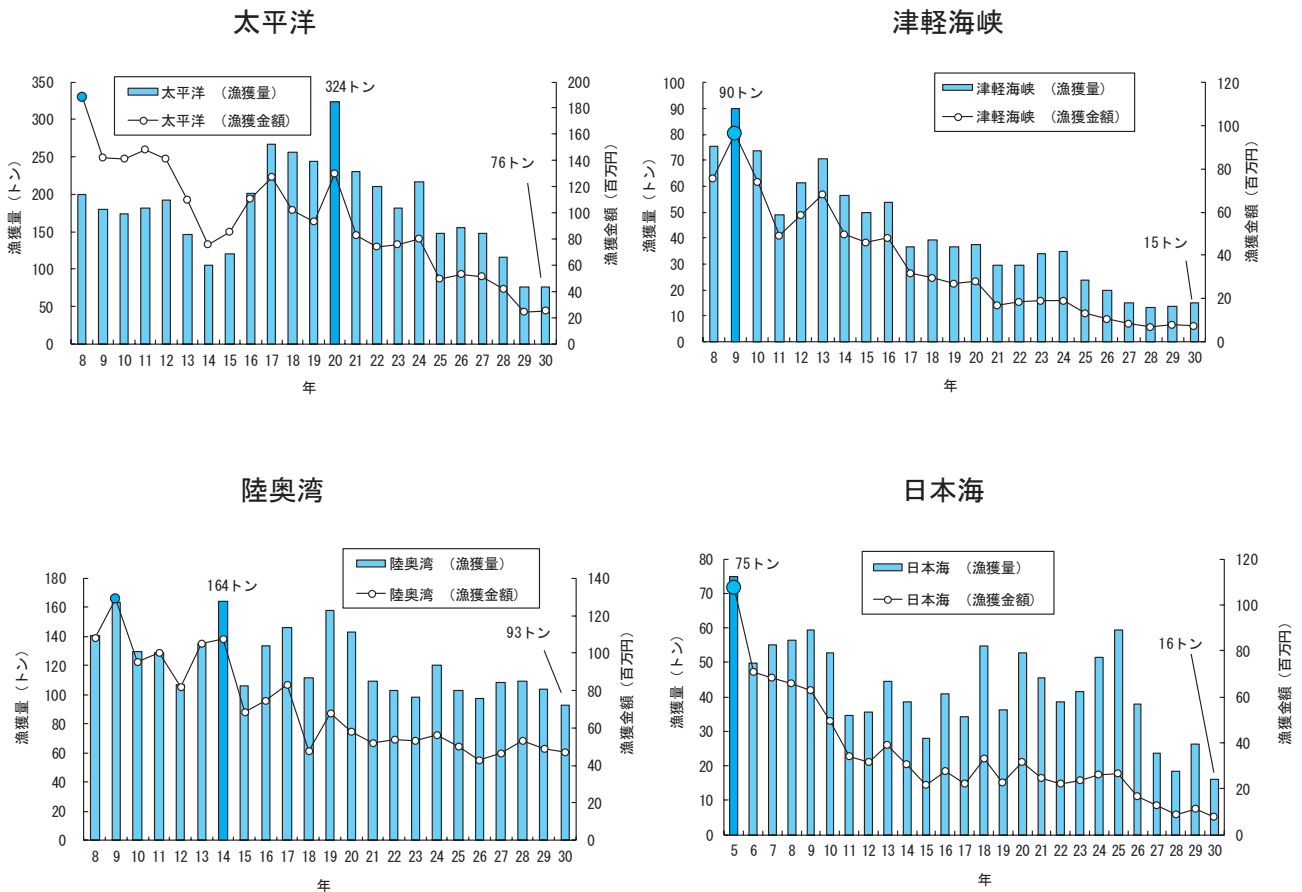


図 青森県におけるマコガレイの海域別漁獲量及び漁獲金額の推移（水産総合研究所調べ）

## 資源を上手に利用するために

○マコガレイ資源管理計画（平成 13 年 3 月）

・全長 20cm 未満個体の再放流、かれいさし網の目合制限（3.5 寸以上）を定めている。

☆上記の取組を継続することが必要である。

## トピックス

- ・本県に分布するマコガレイは、産卵期が太平洋、津軽海峡、陸奥湾、日本海でそれぞれ異なり、遺伝的にも異なる（日本海区水産研究所）。
- ・野辺地町漁業協同組合では平成 23 年度から、車力漁業協同組合では平成 24 年度から、水産総合研究所への委託事業としてマコガレイの種苗放流事業を継続して行っている。